

第3種郵便物認可

山陽新聞

「ささりん」よろしく

マスコットの原画を手掛けたのは、6年貝吹美空さん(11)。「皆から愛されるキャラクターのように目や鼻、口などをかわいらしくした」と言う。学校便りに載っていた校章からヒントを得て、額にササリンドウの花を、頭部には「50」の文字とササの葉を描いた。塩崎弘之副校長(56)が原画を基に完成させた。

同小は児童数の増加に伴い、大高小(同市堀南)から分離し、1971年に創立した。創立50周年に当たり、児童会が昨秋にキャラクターを募集。全学年から110点が寄せられた。4月に幾つ

葦高小マスコットキャラ

葦高小(倉敷市笹沖)は創立50周年を記念し、マスコットキャラクター「ささりん」を作った。校章に用いられているササの葉や白いササリンドウの花をモチーフに、児童が考案した愛くるしいデザイン。学校の印刷物などに活用する。(仁井名小百合)



「ささりん」の原画作品を持つ貝吹さん(左)と、完成したデザインを手にする塩崎副校長

創立50周年記念 貝吹さん(6年)考案

かの候補の中から各クラスで多数決を取って決めた。

葦高小によると、校章にササリンドウと世界7大陸を示す7枚のササの葉が使われたのは、「ササのように丈夫で真つすべ、リンドウのように美しく育ち、世界に羽ばたいてほしい」との願いが込められている。

50周年記念事業について、同小は地元住民らと計画を進め、今後は記念ソングなども作る予定。ただ、新型コロナウイルスの影響で規模を縮小するという。

同小OBで同事業実行委員長の甲田博豊さん(41)「同市笹沖は「引き続き地域で子どもたちを見守っていく」と話す。